

2024年2月8日

地銀共同センターの次期勘定系システム基盤について

～国内初のオープン系共同利用型クラウド基盤「統合バンキングクラウド」の適用～

株式会社千葉興業銀行（頭取 梅田 仁司）は、次期勘定系システム基盤について、地銀共同センター参加行^{※1}とともに、新たにNTT データが構築する国内初となるオープン系共同利用型クラウド基盤「統合バンキングクラウド」を適用する方針を確認し、2028年1月の適用に向け、今後地銀共同センター参加行およびNTT データと協力して検討を進めていくこととお知らせいたします。

当行を含む地方銀行13行が参加する地銀共同センターでは、NTT データと共に勘定系システムの次期基盤の検討を進めてまいりましたが、この度、2028年1月を目途に、国内初となるオープン系共同利用型基盤の「統合バンキングクラウド」上に勘定系システムを構築する方針を決定いたしました。このシステム基盤は、地銀共同センターにとどまらず他金融機関への適用も可能であり、勘定系システムの効率的運用に寄与するものです。これにより安全にオープン化による勘定系システムの軽量化を図り、経営資源を戦略領域に集中することで、お客さまに付加価値の高いサービスの提供をめざします。

この取組みは、横浜銀行をはじめ地方銀行6行からなるMEJAR(メジャー)^{※2}との共同研究会「CMS-WG」^{※3}の主要テーマである「勘定系システムの効率的運用」の実現に向けた取組みの一環でもあり、2024年1月にオープン基盤に移行したMEJAR(メジャー)の移行ノウハウも取り入れ、他金融機関の利用拡大もめざしています。

地銀共同センター参加行（13行）



MEJAR 参加行（6行）



※広島銀行は、2030年度より共同利用予定

※1 地銀共同センター …NTT データが構築・運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。

※2 MEJAR(メジャー) …NTT データが構築・銀行が主体で運営する、地方銀行・第二地方銀行向け基幹系共同センター。

※3 CMS-WG …地銀共同センターおよびMEJAR が、共同化グループの枠組みを超えたシステム運用の効率化を検討するため2021年11月に設立したワーキンググループ。

以上